

部局名	財務部	所属名	資産税課	所属長名	赤羽 克則	電 話	483-1151 内線3380
-----	-----	-----	------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4173	事務事業名称	税務資料整備事業						短縮コード	経常		臨時	4173
予算区分	会計	01	一般会計	款	05	労働費	項	01	労働諸費	目	02	緊急雇用対策費	
区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他			根拠法令等		地方税法，八千代市税条例，千葉県緊急雇用創出事業臨時特例基金条例，千葉県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業補助金交付要綱							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
この事業は，千葉県緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用し，失業者に対する短期の雇用・就業機会の創出・提供を図るために実施している事業である。 地積測量集積データ化事業・・・法務局にある地積測量図や庁内に存在する座標データのある資料を取り込み固定資産評価に使用している地番現況図の精度を高める事業													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	06	第6章産業活力都市をめざして						
この事業は現不況下において臨時的に行われたものである。					大項目（節）	04	第4節労働環境						
					中 項 目	01	1. 労働環境						
					小項目（施策）	01	(1)就業の実現と安定						
					細 項 目	01	①失業者の就業支援						
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				<input type="checkbox"/>	計画事業期間		～			計画事業費		千円	

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	失業者，税務資料							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成24年度に実際に行ったこと： 地積測量集積データ化事業・・・法務局にある地積測量図や庁内に存在する座標データのある資料を取り込み固定資産評価に使用している地番現況図の精度を高める事業 （失業者を雇用した上での業務）							
	※平成25年度に計画していること： 単年度事業のため平成25年度においては事業計画はなし							
意図 （何を狙っているのか）	・税務資料整備による業務の効率化・課税の更なる適正化 ・失業者に対する短期の雇用・就業機会の創出・提供							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 3 年度	2 4 年度		2 5 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	事業に従事する人数	人	28	32	34		
	指標 2	対象税務資料件数	件	4	18	18		
	指標 3							
活動指標	指標 1	新規雇用の失業者	人	24	24	24	0	
	指標 2	整備税務資料件数	件	4	18	18	0	
	指標 3							
成果指標	指標 1	雇用の創出（新規雇用の失業者/事業に従事する人数）	%	85.7	75	82.4	0	
	指標 2	対象税務資料整備達成率	%	100	100	100	0	
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	4173	事務事業名称	税務資料整備事業				所属名	資産税課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続			実施期間完了に伴い事業終了となるため。			
		<input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善						
		<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小						
		<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し						
	<input type="checkbox"/> その他							
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止							
<input checked="" type="checkbox"/> 事業完了								
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続								
⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			地番図の一括高精度化は短期的なものであり、後の成果の維持は通年の業務の中で補えるものであることから、今後も引き続き地番図の精度は高いまま維持し続けることができる		
			削 減	不 変	増 加			
	成 果	向 上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		不 変	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
<p>①税務資料の検索時間が短縮された。</p> <p>②土地の形状の把握が迅速にになり評価の効率をあげた。</p>									

所属長コメント	地番現況図の効率的な活用により、土地評価業務が円滑・正確に遂行できるよう努める。平成24年度をもって事業完了とする。								
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続			地番現況図の効率的な活用により、土地評価業務を円滑・正確に遂行できるように努める。また、平成24年度をもって事業完了とする。					
	<input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善								
	<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小								
	<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し								
<input type="checkbox"/> その他									
<input type="checkbox"/> 廃止・休止									
<input checked="" type="checkbox"/> 事業完了									
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続									